日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	音楽基礎4

科目基礎情報

開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	サウンドクリエイターコース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	60時間
単位数	4単位			授業形態	講義
教科書/教材	基本的に毎回、映像・音源資料を視聴。その他参考資料等は、必要に応じて授業中に紹介。				

担当教員情報

担当教員	平下政志	実務経験の有無・職種	有・ミュージシャン/アレンジャー/コンポーザー

学習目的

現代の多様化した音楽には様々なジャンルの音楽が混在しているが、その中には過去からの確立した理論がベースに存在している。その知識を深め、多様なアプローチから作曲・編曲が出来るための基礎を学ぶ。

到達目標

学校指定のグレードをマスターすること。
理論の中でも特にコードについて理解することを目標とする。

教育方法等

授業概要	学校指定教科書から学ぶ、また必要と思われる部分は補足して講義する。 プロジェクター・ホワイトボードを使い、音を確認しながら説明する。
注意点	筆記用具と五線譜ノートを持参する。 他の理論授業（特に水曜日の専攻ゼミ）と連携して進めていくため、授業時間外での予習・復習をする。授業時数の4分の３以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価方法	種別	割合	備　考
	試験・課題	50%	前期末試験
	小テスト	10%	確認の小テスト
	レポート	0%	
	成果発表（口頭・実技）	0%	
	平常点	40%	出席率、および授業への参加姿勢

授業計画（1回～15回）

回	授業内容	各回の到達目標
1回	コードの種類①	分数コードと転回形について理解する
2回	コードの種類②と音列	Suspended4とアヴォイドノートを理解する
3回	コードの種類③	sus2コードとadd9コードの機能、構成音を理解する
4回	調関係について①	同主調 と平行調の違いを理解する
5回	調関係について②	同主調 と平行調の調関係について理解し使用方法を学ぶ
6回	調関係について③	モーダルインターチェンジを理解する
7回	調関係について④	モーダルインターチェンジの機能とカデンツ（コード進行）の関係性を学ぶ
8回	コード・調関係の小テスト	ここまでの内容を理解しているかを確認する
9回	ケーデンス（chord progression)①	セカンダリードミナントを理解する
10回	ケーデンス（chord progression)②	セカンダリードミナントの機能とカデンツ（コード進行）の関係性を学ぶ
11回	ケーデンス（chord progression)③	ツー・ファイブとハーモニックマイナー・ツー・ファイブを理解する
12回	ケーデンス（chord progression)④	related Ⅱm7の意味と内容を理解する
13回	ケーデンス（chord progression)⑤	セカンダリードミナントとrelated Ⅱm7の関係性を学ぶ
14回	後期まとめ	コードの種類・調関係・ケーデンスの総ざらい
15回	後期試験	後期授業内容の理解度を確認